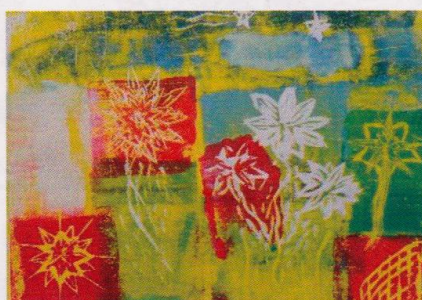
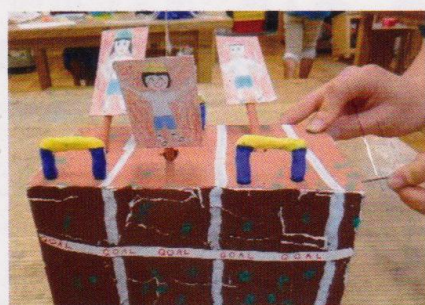
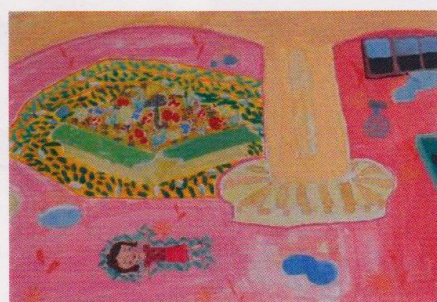


第42回児童造形教育研究会（夏の研修大会）

大会テーマ 子どもとつくる図工の学び

～ これでもいいんだ!! 新学習指導要領 ～



日時 2018年8月2日(木) 9:30 開会

場所 東京学芸大学附属竹早小学校

9:20 開会あいさつ（子どもコーナー開始・午前中のみ）

9:30 ★児造研スタッフが新学習指導要領をふまえて3本の授業を展開（東京学芸大学附属子どもたちと）

・低学年「つくってみて、みて、かんがえて」

・中学年「つないで くねくね」

・高学年「見る見る・ぬるヌル・ローラーアート」

10:45 全体会『激論!!授業と新学習指導要領』 コメンテーター：大泉義一

12:30～13:30 昼食

13:30 実技ワークショップ・ざっくばらん討論会（終了16:00）

16:30 後片付け・散会

サブテーマ「これでいいんだ!! 新学習指導要領」について

会長 堀井武彦

いよいよ、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 図画工作編が今年 2 月末日発行されました。皆様の周辺でも、学習指導案形式や、とりわけ評価規準の示し方、児童の姿の読み取りの違い等々、移行期間の諸対応に格闘されていることと拝察します。

これでいいんだ!! その①

本研究会でも、これまで議論を重ねてきましたが、誠に僭越ながら「これでいいんだ!! 新学習指導要領」という、実に不遜なスローガンを掲げてしまいました。発行されて半年の段階で、「どこからその自信が?」と眉唾であると受け止められても仕方ありません。しかし、本研究会では、「授業形式で活動する子どもの姿」「新学習指導要領解説作成協力者を交えたパネルディスカッション」「実技研修」の 3 本立ての本部会ならではの多面的な研修会の場で、参会者と共に学び合い、立ちふさがる霧を払い除こうという構想を立てました。まずこれが一つ、「これでいいんだ!!」の大風呂敷を広げる根拠となっています。



これでいいんだ!! その②

学習指導要領の第 I 章 総説 1 改訂の経緯及び方針 (2) 改訂の基本方針 ③アには、「(省略) 特に義務教育段階はこれまで地道に取り組みされてきた実践を否定し、全く異なる指導方法を導入しなければならないと捉える必要はないこと。」とあります。また、③イでは、「授業の方法や技術の改善のみを意図するものではなく、児童生徒に目指す資質・能力を育むために「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点で、授業改善を進めるものであること。」とも示されています。ここまで示されているのですから、心配ご無用という気がしました。



とりわけ、子どもたちは、学習指導要領が新しくなるうとも、子ども本来の造形感覚を働かせて活動に浸り、つくりだす喜びを味わうことに変わりないわけですから、これでいいんだ!! と考えることにしました。

これでいいんだ!! その③

最後に、図画工作科の見方・考え方というキーワードが注目されています。そもそも、図画工作の活動では、表現のための発想や構想は、当面の心づもりであって、途中で新たな着想を得たら常に変更が可能であるという柔軟な思考が、図画工作の見方・考え方の代表格ではないかと考えられます。子どもが、安心して自分なりに表現できる場、排除への不安や劣等感に苛まされることなく、安心して自分が自分で居られる場が在れば、子どもは自然と他者の表現をも受け入れ、対話的な深い学びへと向かうはずで、これも本研究会が大切にしてきた子どもの学びの姿、これでいいんだ!! なのです。





授業からの見取りを、授業者ではなく別のスタッフが語ります



参加者も、グループになって語り合います。



スタッフも混ざって耳を傾けます



討議が止まりません

いい意味で、出番が少ない大泉先生と進行の石賀先生



グループ討議をもとに発言



